



第80号

2020年8月16日発行

発行⇒郵政産業労働者ユニオン中国地方本部
Tel&Fax⇒082-244-7719
piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp
http://www.piwu-chugoku.net/

郵政産業労働者ユニオン中国

広島地方最低賃金審議会に意見陳述
少なくとも東京と同額(1013円)
全国一律最賃に!

郵政ユニオン広島県協議会は、7月22日に中央審議会が今年の最低賃金引き上げを見送る答申を出したことを受け、広島地方審議会に対し、地方最賃の大幅引き上げと全国一律最賃の実現を求める意見書を提出しました。また広島県協議



会の岡崎議長(地本執行委員)も、非正規労働者の立場で昨年に引き続き同主旨の意見書を提出しました。

8月3日に広島労働局で行なわれた地方審議会では、岡崎議長と上関事務局長が傍聴参加し、郵政ユニオンとして意見陳述の場に臨み「憲法25条第2項に規定された生活向上に向けた国の努力義務や不採算部門を中小下請けに押しつけ460兆円を超える内部留保を溜め込んできた大企業の責任を根拠に、コロナの危機で操業もできずに苦境に立たされた中小零細や個人事業者、最賃の額に大きな影響を受けている非正規雇用労働者に税金や内部留保が

投入されるべき」と国や大資本が市民の暮らしを支える役割を果たすよう訴えました。

審議会は公益委員(学者・税理士など)、経営者側委員、労働者側委員で構成されており、行政からこの間の調査報告や助成金等の説明が行なわれた後、労働側と経営側の意見が求められました。労働側からは、若者の県外流失防止、この間の賃上げの流れを止めない、セーフティネットとしての最賃の位置づけ、消費の喚起、加重平均1000円の早期実現といった発言があり、経営側からは「各種助成制度を活用して雇用を維持してきた」「中央は地方の状況を理解せずこの間賃金を引上げてきたが今年の見送りは妥当」との発言がありました。

岡崎執行委員の感想

広島労働局6階会議室で開かれた審議会は、広島県の労働者に支払われるべき

一時間あたり賃金の最低額を決定する場所です。この会合に私たち郵政ユニオンは、昨年に続いて臨席しました。事前にこの審議会には、広島県労連加盟組織の仲間とともに広島支部・上関さんと私、岡崎(広島中央支部・非正規労働者/郵政労働契約法20条裁判原告)の2名が意見書を提出しており、配布された資料に添付されていました。

一三時三〇分より始まった審議会。一五名の審議会のメンバーの前で、加盟組織の仲間が続いて広島支部・上関さんが意見陳述を行いました。現在の時給871円では一カ月に約15万円位にしかならず、年収200万円以下の労働者が1千万人以上になった今、最低賃金が上がらなければ、貧困に拍車をかけるのではないかという危機感をあらわにしました。

PIWU CHUGOKU

二〇一九年一二月現在、日本の企業の「内部留保」は460兆9千億円。格差の拡大が進む現状を指摘し、地方の過疎化の加速を止めるためにも、全国一律1500円以上の時給を要求しました。そして「それで十分に最低限の文化的生活が営める社会を国が作るべきである」とも主張しました。

誰を利用する？空疎な発言

続いて14時30分から専門部会に移りました。ここでは具体的な金額提示が行われます。進行を務める専門部会長より、使用者側代表と労働者側代表が、それぞれ今年度の「最低賃金額」決定に対する意見を述べました。使用者側は、中央審議会の賃上げ無し、いわゆる「ゼロ回答」を高く評価しました。

労働者側代表は「最低賃金は貧困に対するセーフティーネット・家計の

維持・消費の喚起・そして広島県の若者たちの県外流出を止めるために必要だ」と主張しました。

この後、部会長から具体的な賃金の明示を求められました。使用者側は当然、「ゼロ回答」としました。そして労働者側代表に金額を示すよう促された時、その答えに会議場の空気が凍りつきました。「金額の提示はありません」との一言：衝撃でした。一体何のための労働者代表なのでしょうか？

要求の場で多数派形成を

この発言者は「連合広島」事務局から出席した人物でした。この情けない言動こそ、現在の労働者を取り巻く環境が如何に厳しいものであるかの象徴と言えるでしょう。動かなければなりません、声を上げなければなりません。声なき声をすくいあげなければなりません。

**職場の不満や困り事は
郵政ユニオンに
相談しよう**

私たちは、「全国一律1500円以上」の最低賃金を求め、すべての者が安心して働ける社会を目指します。

**教習部長の
ひびくべし**

すべての催しや活動に規制や自粛が求められる「新型コロナウイルス」蔓延の下での平和活動。異常な環境の中でも「原水爆禁止国民平和大行進」は広島県実行委員会の感染対策(検温や間隔保持・日程短縮)に従いつつ「東京・長崎・富山各」ースを、日を替え歩いた。

イクル岐阜・滋賀連名で広島市長へ宛てたメッセージが見つけた。さややかでも、一人ひとりが出来ることを続けること。そしてお互いを知る機会を逸しないことが、核も戦争もない平和な世界につながる信じたい。

「」数年、カンカン照りの猛暑に見舞われてきたが今年はやや曇り加減で、行進者にはありがたい天候。水分補給の休息では変わらず支援に駆けつけて下さる地域の女性たちがいる。感謝しつつ、距離を取りつつ頂戴する。広島じゃけん歩かんじゃね(笑)

8月4日の集結集会では全国の自治体首長や議会議長・団体等から寄せられた1万枚以上のペナントを参加者全員で掲げてWeb配信している。
原爆の日(8/6)、式典後の資料館下にピースサイン

■■今後の予定■■
第2回地本執行委員会
8/30(日)9:13時
第1回地本支部長会議
8/30(日)13:16時

<https://twitter.com/hpeacemarch> ■広島県内平和行進タイジエスト版は <https://t.co/hWL50sG3dH?amp=1> をご覧ください